

2021年12月16日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社



株式会社日本政策投資銀行が発行するサステナビリティボンドの発行を支援

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 荒木 三郎、以下当社)は、このたび、DBJ証券株式会社と共に私募の取扱者として、株式会社日本政策投資銀行(以下、DBJ)が発行する国内サステナビリティボンド(株式会社日本政策投資銀行第126回無担保社債(社債間限定同順位特約付及び分割制限付少数人数私募)、以下本社債)100億円の発行を支援いたしました。

DBJは、持続的な社会の実現に資する取り組みを積極的に行っており、2014年以降、毎年、外債にてグリーンボンド及びサステナビリティボンドを発行しておりますが、本社債は、DBJとして初めての国内サステナビリティボンドの発行となります。本社債は、第三者評価としてISS ESGより、国際資本市場協会(ICMA)の「サステナビリティボンド・ガイドライン 2021」に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しており、本社債によって調達された資金は気候変動への対応に資するプロジェクト(グリーンビルディング、再生可能エネルギー等)、ヘルスケア・社会福祉の発展に資するプロジェクトに充てられる予定です。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした社債の発行に向けた支援を一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※SDGs債ロゴについて

日本証券業協会によると、調達資金がSDGsに貢献する事業に充当される債券、いわゆる「SDGs債」には、SDGsの中でも環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則(例えば、国際資本市場協会(ICMA)によるグリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則、サステナビリティボンド・ガイドラインなどを指します。)に沿った債券や、事業全体がSDGsに貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。当該ロゴは、前述の条件に適合する債券等に対し、使用を認められているものです。

以上